

会 議 録

会議名	令和４年度第２回東浦町ご当地グルメ開発実行委員会	
開催日時	令和４年１０月２４日（月） 午後２時３０分から午後３時１０分	
開催場所	勤労福祉会館 ２階 会議室１	
出席者	委員	石川恭央氏、鈴木涼子氏、田近美由紀氏、田島由美子氏、中瀬進吾氏、古田純也氏、前田寛氏、水野博隆氏、水野善久氏（委員長）、向井敬太郎氏、山崎紀恵子氏、竹内理子氏
	事務局	植田ふくし課地域包括ケア推進係長、高橋ふくし課地域包括ケア推進係主事、鶴島健康課主任専門員、青山健康課成人保健係主事、水野農業振興課農政係主査、村上商工振興課商工観光係長、尾前商工振興課商工観光係主事、
欠席者	近藤晃子氏、園田祐美子氏、照井聖子氏	
議題等	１ ひがしうら Re-Bone グルメについて ２ 産業まつりのステージ及びブース出展について ３ スタンプラリーについて ４ ご当地グルメ開発実行委員会の今後の方向性について	
傍聴者の数	０名	
審議内容	◆事務局 ・開会あいさつ ・傍聴人の許可（０名） ・会議録作成にあたり、写真撮影及び音声録音の連絡 ・配布資料確認 ・会議の成立 要綱第６条第２項に基づき、委員の２分の１以上が出席していることから、会議の成立を報告。 ・以降は、委員長が議事を取回す。 ◇委員長 委員長あいさつ。 （議題１）ひがしうら Re-Bone グルメについて	

◆事務局

11月の産業まつりにて、ひがしうら Re-Bone グルメがお披露目となる。

ひがしうら Re-Bone グルメとは、ご当地グルメ（食）をきっかけにサステナブルで健康なまちをつくる取り組みと整理する。

①東浦に紐づく②骨折予防に役立つ③環境に優しいという3つのコンセプトを網羅するものであれば、何でも Re-Bone グルメ食材となる。

Re-Bone グルメは、コンセプトに合う食材と、飲食店、事業者などの作り手のアイデアで生まれ、地域みんなで育てていくものであるという考え方により、継続的な事業としていく。

Re-Bone グルメ提供店に設置する「のぼり」については、資料1掲載のデザイン、キャラクター名称については、多数決により「リボンちゃん」に決定。キャラクター名称の有効な活用方法等は、今後検討していく。

Re-Bone グルメの提供について、飲食店及び学校給食での提供予定は、資料1のとおり。

給食、社食等で使用する、Re-Bone グルメ提供日の名称について、「リボーンの日」としてよいか。

（意見なし）

「リボーンの日」で決定とする。

学校給食での提供日について、ハッピーボーン開発部会では、毎月1日と話し合っていたが、4月1日、1月1日等、給食が提供されないことが多い日であることが判明したことから、「11日」としてよいか。

（意見なし）

「11日」とし、給食センターと協議する。

資料2について、摘果ぶどうを用いたクラフトビールが完成。産業まつりで限定販売し、名称及びラベルデザインの原画を募集する予定。

安城デンビール株式会社（株式会社おとうふ工房いしかわの子会社）が作成し、東浦町商工会と協力しながら、東浦町のご当地ビールとして売り出していけると良い。

◇委員長

ご意見、ご質問はあるか。

	(意見なし) (議題2) 産業まつりのステージ及びブース出展について ◆事務局 産業まつりに従事いただく委員には、報償費を支払う。 ご当地グルメのブースは、産業まつりパンフレットの地図の内、紫色16番の位置となる。 資料3は、当日のシフト案である。10時から10時20分までは、文化センターホールにてステージ発表を実施する。 資料4は、当日使用するパワーポイントイメージであり、現在作成中の「ご当地グルメ誕生秘話動画」と合わせて、ステージにてご当地グルメをPRする予定。 資料5上部が、委員に参加いただく11月12日(土)のブースのレイアウト案である。 ブースでは、愛知中央ヤクルト販売株式会社による骨密度測定、安城デンビール株式会社(株式会社おとうふ工房いしかわの子会社)によるビール販売、名称及びラベルデザイン公募、誕生秘話動画の視聴、健康展とのコラボでクイズラリー、スタンプラリーの紹介等を予定している。 また、今回ビールを購入された方に、12月から実施するスタンプラリーの台紙にスタンプを一つプレゼントする。 骨密度測定とビール販売以外の箇所について、委員に対応いただきたい。 11月13日(日)については、委員の従事予定はないが、ブースは開設する予定。 駐車場所の案内、駐車券は、後日郵送にて委員に送付する。 ◇委員長 ご意見、ご質問はあるか。 (意見なし) (議題3) スタンプラリーについて ◆事務局 12月のRe-Boneグルメ提供開始に合わせて、Re-Boneグルメを周知するためのスタンプラリーを実施する。 実施期間は、令和4年12月1日(木)から令和5年2月28日
--	---

	(火) までの3ヶ月、スタンプ台紙の回収については、令和5年3月7日(火)までとする。 抽選の結果は、当選者のみ通知を発送し、3月中に景品を郵送する予定。 今回、時期的に摘果ぶどうが入手できないため、摘果ぶどうを用いた商品は提供しない。そのため、おからグルメを提供する「おからグルメ提供店」と、来年度以降、摘果ぶどうで協力いただく「摘果ぶどう協力店」の2種類を取り扱う。 スタンプラリーのルールとして、スタンプは「おから」と「ぶどう」の2種類とする。 おからグルメを食べると、おからスタンプ1つと、参加賞が1つもらえる。参加賞は、一般社団法人日本乾燥おから協会から提供いただくことで調整している。 ぶどうスタンプは、お店を訪れると1つもらえる。ぶどうのお店では参加賞の配布は実施しない。 スタンプは3つ集める必要があるが、3つのうち2つはおからスタンプが必要。また、3種類別のお店で集めなければならない。 1人何回でも参加可能で、参加賞はおからグルメを食べる毎にもらえる。 現在、町内14店舗に参加いただく予定。資料7が、12月からのRe-Boneグルメ提供店舗の一覧となっている。 資料8は、抽選で当たる景品一覧。8社の企業から商品を提供いただく。 ◇委員長 ご意見、ご質問はあるか。 ◇委員 スタンプラリー台紙の配布方法は。 ◆事務局 広報12月号紙面に台紙を掲載する。また、チラシ兼台紙別で作成し、産業まつりやグルメ提供飲食店で配布する。 また、台紙データを町ホームページに掲載する。 ◇委員 複数の台紙を合わせてスタンプ3個、となった場合の対応は。
--	--

◆事務局

対応について、事務局で整理する。

◇委員

抽選景品一覧は、一般住民に公表するか。

◆事務局

チラシ兼台紙に掲載する等、一般住民に周知する。

(議題4) ご当地グルメ開発実行委員会の今後の方向性について

◆事務局

資料9で、これからのご当地グルメの動きについて図に示した。

令和3年度から、ご当地グルメ開発に取り組み始め、今年度「Re-Bone グルメ」が誕生し、町の飲食店で提供が始まる。

令和5年度には、ご当地グルメを地域に浸透させる動き、令和6年度には、根付かせる動きへとシフトしていくと考えている。

「骨折予防」の取組の一環としてできたグルメを切り口として、「農業」「商業」「観光」「食育」という視点での取組へ展開していけるのではないかと考えている。

「農業」「商業」「観光」については、今回、摘果ぶどうのビールが完成したように、「農業者と企業のマッチング」を進める動きや、サステナブルで健康な「Re-Bone グルメ」のあるまちとして、観光面でのPRなど、行政の各セクションの連携や関連組織の協力により進めていくことを考えている。

また、「食育」については、①東浦に紐づく②骨折予防に役立つ③環境に優しいというコンセプトを掲げる「Re-Bone グルメ」を通して、食を通じて地域を知ることにつながり、自然の恩恵・食の生産への理解が進み、環境への理解を育むことが期待でき、これが食育と重なる考える。壮大な取り組みであるため、地域の様々な主体の方々に関わっていただきたい。

今後のご当地グルメ開発実行委員会については、グルメが完成し、普及の初期段階の動きができ、今後の方向性、その後の道筋が見えたため、令和5年度の取組を持って終了とする。

令和6年度からは「(仮称)食育推進会議」を設け、グルメを切り口として、地域の食育に取り組んでいきたい。

	なお、ご当地グルメ開発実行委員会の委員が、そのまま（仮称）食育推進会議に移行するものではない。 ただ、この取組にご理解いただいている貴重な方々として、今後ともご相談させていただきたい。 令和５年度の目標は、今年度完成した「Re-Bone グルメ」を浸透させることとする。 生活に根付かせるための取組を進める「ハッピーボーン開発部会」、意識付けをする「普及促進部会」、それぞれの令和５年度の主な取組予定は、資料１０のとおり。 令和５年度の具体的な取り組みについては、部会において検討を進めていただきたい。 ◇委員長 ご意見、ご質問はあるか。 （意見なし） ◇委員長 本日の議題は以上とする。事務局へお返しする。 （次第３）その他 ◆事務局 令和５年度でご当地グルメ開発実行委員会は終了としているが、取組み自体は終わらない。むしろ、多くの可能性が見えてきたので、取組みを広げていきたいと考えている。 委員の皆様は、またご相談させていただくこともあるかと思う。その際は、ぜひよろしくお願いしたい。 ◆事務局 閉会を宣言。
備考	なし